

2月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和4年1月31日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」
自ら学ぶ子・人とつながる子
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



一日一日を大切に



厳しい寒さが続きますが、なかよし広場でお互いに距離を取りながら、熱心に縄跳びを練習する子どもたちの姿が見られます。1月に入り、舞鶴市内でも新型コロナウイルス感染が拡大し、メールでもお知らせしていますように、本校児童にも感染者の確認が続いています。保護者の皆様には、日々、新型コロナウイルス感染に係る連絡をいただいたり、感染防止対策の観点から自宅待機をしていただいたりのご協力をいただいています。誠にありがとうございます。今後もお子様の健康観察等をお願いいたします。

1月21日(金)・22日(土)の作品展には、感染防止対策についてご理解・ご協力をいただいたうえで、多くの保護者の皆様に参観いただきました。ありがとうございました。なかなか授業参観を行えない状況の中、子どもたちの作品を通して、学校生活の一端を感じていただくことができている幸いです。作品展に向けて、子どもたちは熱心に作品作りに取り組んでいました。紙粘土で顔を表したり、初めてのこぎりを使ったり、版画をしたり、これまでの作品だけでなく、今学期に仕上げたものもありました。特に6年生は卒業制作ともなるオルゴールに小学校生活の思い出を表し、冬休みにも彫り進めました。おうちの方に励ましていただいたのでしょうか。どの子の作品もしっかり彫られていました。学校で最後まで丁寧に仕上げ、一つ一つ思いが込められた作品になりました。1年生から5年生の作品も一人一人見ごたえのある作品になりました。小さい写真になりますが、ホームページにも様子を載せました。ご覧いただければ幸いです。

さて、1月18日～28日は給食週間。1月の献立は、チャプチェ、ジャンバラヤ、雑煮、タンタンメンなど各国の代表的な料理や筑前煮、京田ご飯などの郷土料理、さらに給食が始まった頃の人気メニュー、シュガー揚げパンなど、普段はあまり食べない献立も並びました。今は、「黙食」のため、食事中に感想を言い合うことはできませんが、残さず、おいしく食べようと黙々と食べていました。そして、児童会の「残さず食べよう！」の掲示板に目標達成のシールを貼る姿が見られました。「食べることは「生きること」に直結します。エネルギーの源は、やはり食事です。1月の児童会の節目「給食を残さず食べよう！ウイルスグッバイ宣言」にもあるように、しっかり食事をとり、ウイルスに負けない体を作っていきたいと思います。



「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」とよく言われます。あっという間に過ぎ去ってしまいがちな3学期ですが、次の学年への大切な時期。逃げられないように一日一日を大切に、コロナ禍でも、どうすればできるかを常に考えながら、子どもたちと活動を進めていきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様には、様々な形でご協力をいただいています。ありがとうございます。今後ともどうぞよろしく申し上げます。

校長 小森昌子



現在、毎週火曜日にタブレットを持ち帰らせ、家庭学習を進めています。ご協力いただきありがとうございます。今後、オンラインでの家庭学習にも発展させていきたいと考えています。ご家庭でのWi-Fi環境の整備にご協力をお願いいたします。